



1.2 年生実施NRT検査の結果より

5月1日に実施しましたNRT検査の結果を報告します。NRT検査は、相対評価法による検査で、学習指導要領における「確かな学力」について、全国標準に照らして、客観的に把握することができます。四日市市ではこの検査を、市の教育予算で市内の中学校1、2年生に実施しています。

1 NRT検査からみられる本校生徒の特徴（全国標準を100として比較しています）

国語1年生

- ① 「伝統的な言語文化と国語の特質」の領域は全国比+13ポイントで、「書くこと」の領域は±0でした。また、「読むこと」の領域は-2で、「話すこと・聞くこと」の領域は-6でした。
- ② 中領域の中では「伝統的な言語文化と国語の特質」の「文中での語句の関係や用法の区別」「漢字の読み・書き、熟語の構成」の正答率が高いことから基本的な言語認識は定着している生徒が多いことがわかりました。
- ③ 「話すこと・聞くこと」の「目的や場に応じて話すこと」「適切に話し合うこと」の正答率が低いため、その場に応じて自分の意見を組み立てて表現する力、また、話し合う力が苦手であることがわかりました。
今後の対策として、授業では、話し合い活動など、自分の考えを表現する機会を多くすることで、「目的や場に応じて話す力」「適切に話し合う力」を伸ばしていきたいと考えています。

国語2年生

- ① すべての領域において全国を上回りました。「話すこと・聞くこと」は全国比+4ポイントでした。「書くこと」は+13、「読むこと」は+17、「伝統的な言語文化と国語の特質」は+24でした。
- ② 中領域の中でも「書くこと」の「表記や語句に注意して書くこと」の正答率がかなり高い結果でした。また、「伝統的な言語文化と国語の特質」の「文や文節、単語についての理解」と「漢字を正しく覚えて使うこと」の正答率が高いことから、基本的な言語認識が定着している生徒が多いことがわかりました。
- ③ 「話すこと・聞くこと」の「話し手の意図を考えて聞くこと」の正答率は、全国比-2.0ポイントでした。
今後の対策として、毎時間行う漢字小テストを継続しながら、少人数グループによる話し合い活動をこれまで以上に取り入れることで「話し手の意図を考えて聞く力」を伸ばしていきたいと考えています。

数学1年生

- ① 「図形」と「関数」の領域は全国比+3ポイントでした。また、「資料の活用」は+6でした。
- ② 「数と式」の領域は-8でした。この領域は、過去全国と比べて高い状況を推移していたこともあり、本年度の1年生は、習熟の2極化が顕著になっていることがわかりました。
- ③ 例年、比較的定着率が低かった「反比例」については、全国と比べてよい結果でした。
- ④ 数学的な技能に課題が見られました。特に、計算が苦手であり、普段の授業でも、その傾向が強く見られるため、4月当初から計算指導を丁寧に行っています。
- ⑤ 計算の中でも、小数計算・分数計算には大きな課題があることがわかりました。また、求積問題、グラフや資料の読み取り問題、文章問題についての理解にも課題が見られました。
今後の対策として、小グループを活用した学び合い学習を効果的に行い、生徒にわかりやすい具体的な教具や資料などを使い、丁寧に指導し課題の克服を図っていきます。

数学 2 年生

- ① 「数と式」の領域は全国比+14ポイントでした。「図形」は+11、「資料の活用」は+9でした。特に、作図の作業手順など、知識として獲得したことを直接扱う問題においては、良い結果でした。
- ② 「関数」の領域では、-7でした。
- ③ 昨年度課題になっていた「資料の整理」における「範囲」の問題は、1年間かけてき目細かな指導を行ってきた結果、正答率が60%以上と大きく改善されました。
- ④ ワークを使い、繰り返して計算練習を行ってきたことも好成果につながり、基本的な計算についてはよく定着しています。
- ⑤ 関数分野は、全国平均においても正答率が50%を切るなど全国的に低い傾向が見られます。この結果は、三四地区中学校数学教育研究協議会で実施した調査結果でも見られ、今後継続的に指導の改善を行っていく必要があります。
- ⑥ 問題別に見てみると、求積問題、説明問題、特徴を捉える問題、グラフを扱う問題、図形の移動の問題、有効数字に課題が見られます。
今後の対策として、全国学力・学習状況調査のB問題に相当する問題を、平素の授業の中でも適切に取り入れることで課題を克服していきます。

2 英検 I B A 検査からみられる本校生徒の状況

英検 I B A 検査は、個々の生徒の英語力と英語検定の各級の程度と比較し、およその英語力を判断するためのテストです。四日市市では、市の教育予算で市内の中学校 2、3年生で6月に実施しました。本校の2年生は「英検 4 級以上」の英語力を有する生徒が約70%、3年生は「英検 3 級以上」が60%以上いることがわかります。※文部科学省の目標は、中学校卒業時に3級以上50%です。

【2年生】目標 4 級以上（中学2年生終了時の英語力は4級）

	準2級	3級	4級	I B A達成割合
H30	0人	25人	31人	56人(68%)

【3年生】目標 3 級以上（中学卒業時の英語力は3級）

	準2級	3級	4級	I B A達成割合
H30	14人	31人	20人	45人(63%)

平成 30 年度 第 45 回新聞スクラップコンテスト学校代表作品一覧

展示会場:イオン四日市尾平店 2 階

展示期間:平成 30 年 10 月 6 日(土)~12 日(金)10 時~20 時(最終日は 17 時まで)

学年	題 名	氏 名	
1	朝日新聞 社説 2018・7/21-8/31	堤 咲月	入選
1	長期間の異常気象~地球はどうなるのか~	瀬津有梨	入選
1	コラムから読み解く今 中日春秋・天声人語	吉田菜月	入選
1	命を落とす危険な暑さ 猛暑もはや災害	山本航輝	佳作
1	働き方を通して世の中をのぞいてみた!	横井美貴音	佳作
2	猛暑の影響と対策	阿部花梨	佳作
2	”働く”って何?	内山太陽	佳作
2	北朝鮮の非核化	山川友麻	佳作
2	平成最後の夏 ~戦争の記録と平成の平和~	岩田栞奈	佳作

※ 本校生徒の応募数は、1年生58名、2年生75名、3年生49名、計182名でした。